

参考資料

2012年度第1四半期 業績の概要

2012年8月13日

ソニー銀行株式会社

損益の状況(1):財務会計ベース

<連結・単体>

金額は億円未満切捨て(役務取引等収支を除く)、増減率は四捨五入で表示

(単位:億円)

<連結>

- **連結業務粗利益**

前年同期比7億円増加の52億円。
主な増加要因は、スマートリンクネットワークの子会社化(2011年7月)。

- **連結経常利益**

前年同期比横ばいの10億円。

- **四半期純利益**

前年同期比8億円増加の14億円。
ソニーバンク証券の累積損失に係る繰延税金資産を計上したことから増益。

<単体>

- **業務粗利益**

前年同期比微減の44億円。
住宅ローン取引に係る利益は拡大したものの、外貨関連取引に係る利益が減少した。

- **経常利益**

前年同期比2億円減少の8億円。

- **四半期純利益**

前年同期比18億円減少の▲12億円。
ソニーバンク証券株式の評価損を計上したことにより12億円の損失。

	<3ヶ月累計>	2011年度 1Q	2012年度 1Q	前年同期比	
連結	業務粗利益	45	52	+7	+15.5%
	経常利益	10	10	0	0.5%
	四半期純利益	5	14	+8	+154.1%

単体	業務粗利益	45	44	0	1.7%
	資金運用収支	38	40	+1	+5.0%
	役務取引等収支	0.6	0.4	0.1	27.9%
	その他業務収支	5	3	2	43.6%
	営業経費	33	35	+1	+4.3%
	経常利益	11	8	2	20.8%
	四半期純利益	6	12	18	-
	業務純益	11	9	2	21.3%

損益の状況(2): 社内管理ベース

< 単体 >

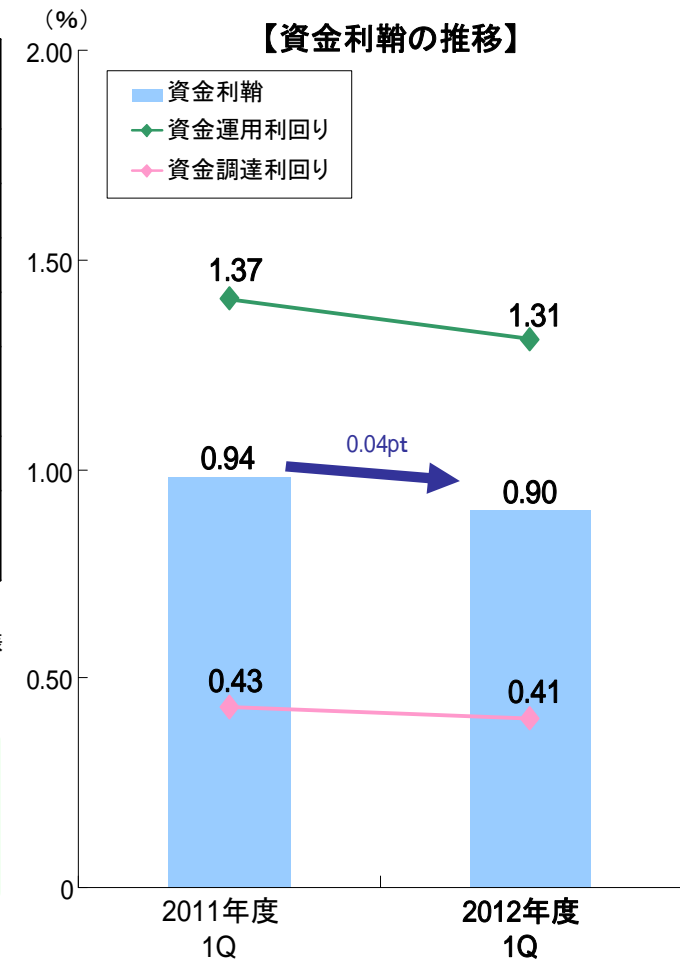
- 資金利鞘は前年同期比やや縮小したものの、資金収支は業容の拡大により前年同期比微増。

<3ヶ月累計>	2011年度 1Q	2012年度 1Q	前年同期比	
業務粗利益	45	44	0	1.7%
資金収支*1	41	42	0	2.4%
手数料等収支*2	3	1	1	35.5%
その他収支*3	0	0	0	—
コアベース業務粗利益(A) =①+②	44	43	0	0.3%
営業経費等③	33	35	+1	+5.2%
コアベース業務純益 =(A)-③	10	8	1	17.2%

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

当期より、社内管理ベースの算出方法を一部変更しました。そのため、2011年度1Qにつきましても、当期と同様の算出を行った場合の金額を記載しています。

- 社内管理ベース 損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの
 - *1 資金収支... 資金運用収支+その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)
 - *2 手数料等収支... 役員取引等収支+その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
 - *3 その他収支... その他業務収支より*1と*2の調整分を控除したものの。主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益
- コアベース 社内管理ベースのその他収支(主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの

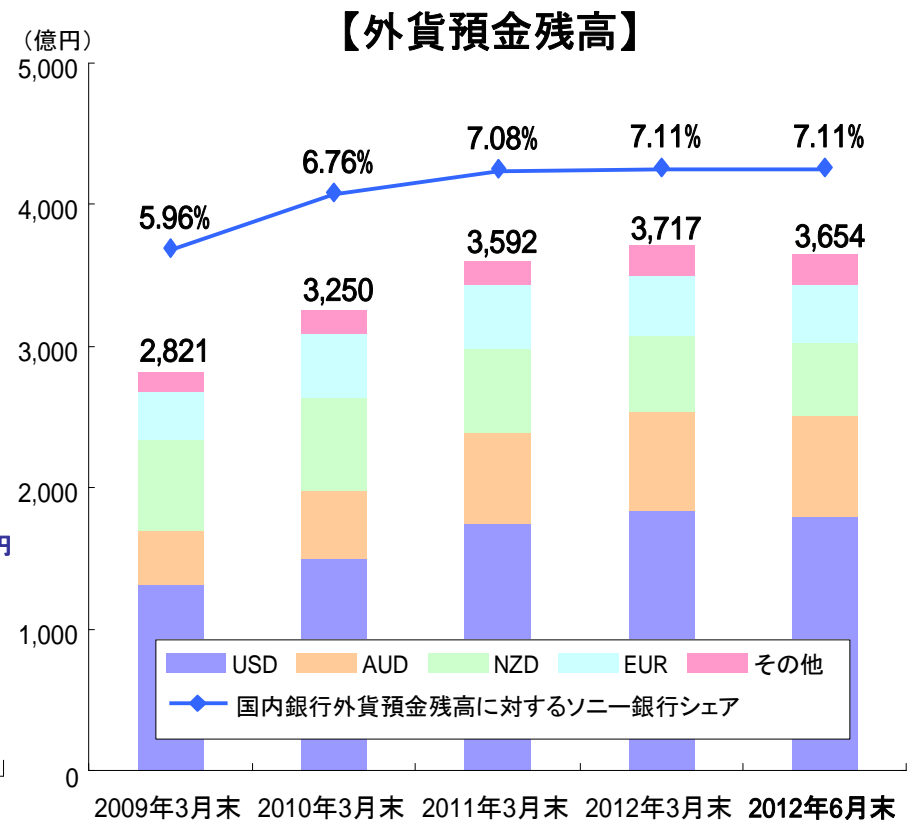
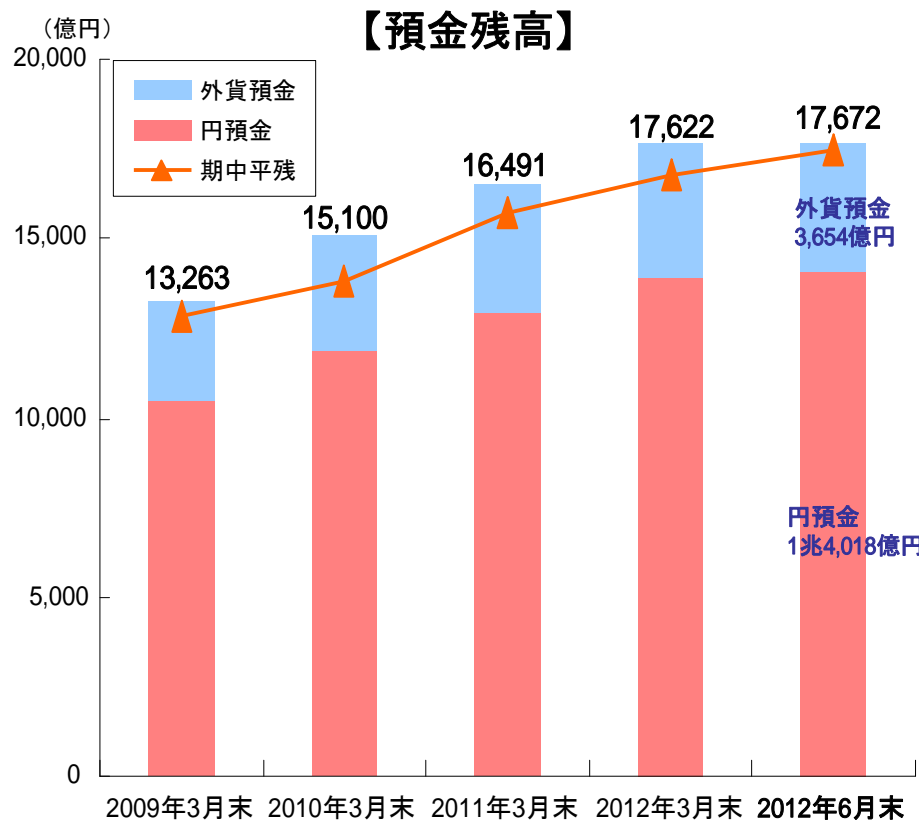


預金の状況

<単体>

- 預金残高は、前年度末比49億円増加の1兆7,672億円。円預金は、夏のボーナスシーズン特別企画効果で増加したものの、外貨預金は、円高進行による円換算の影響(▲181億円)で同62億円減少。
- 2012年6月末の預かり資産残高(預金+投資信託)は1兆8,680億円。

金額は億円未満切捨てで表示

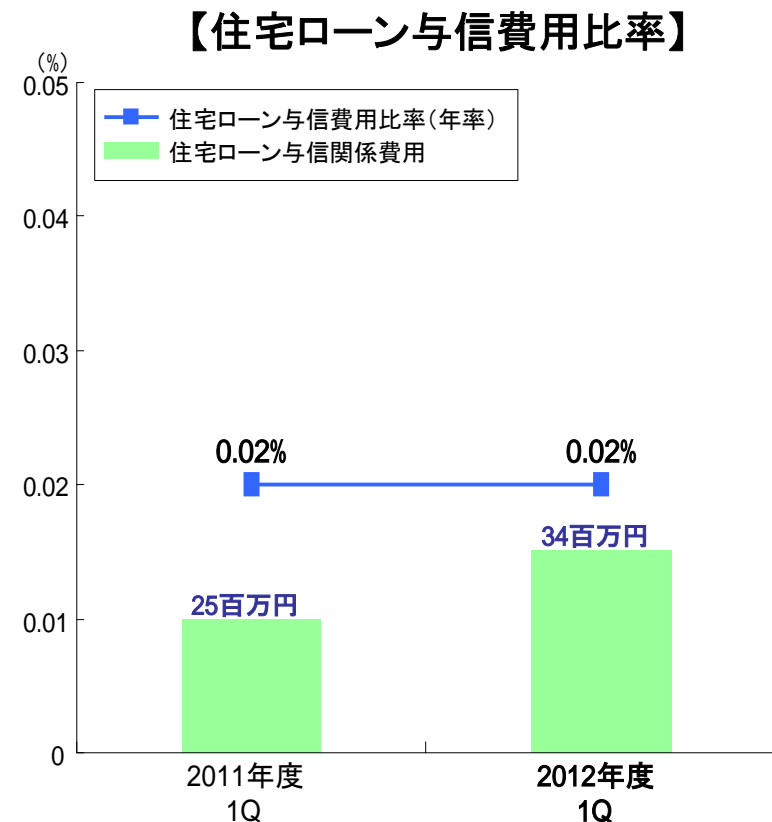
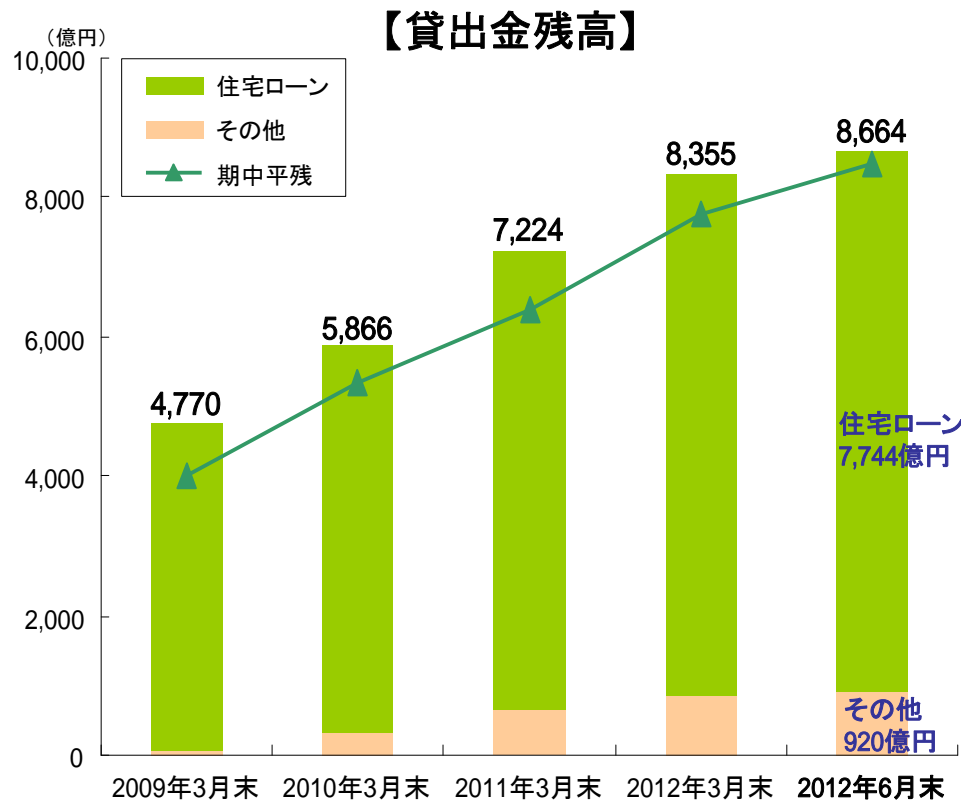


貸出金の状況

<単体>

- 貸出金は、住宅ローンが着実に増加し、前年度末比308億円増加の8,664億円。
- 住宅ローン与信費用比率は、前年同期に引き続き低水準を維持。

金額は億円未満もしくは百万円未満切捨てで表示



住宅ローン与信費用比率 = 住宅ローン与信関係費用 ÷ 住宅ローン平残
 住宅ローン与信関係費用 = 貸出金償却(住宅ローン) + 貸倒引当金繰入額(住宅ローン)

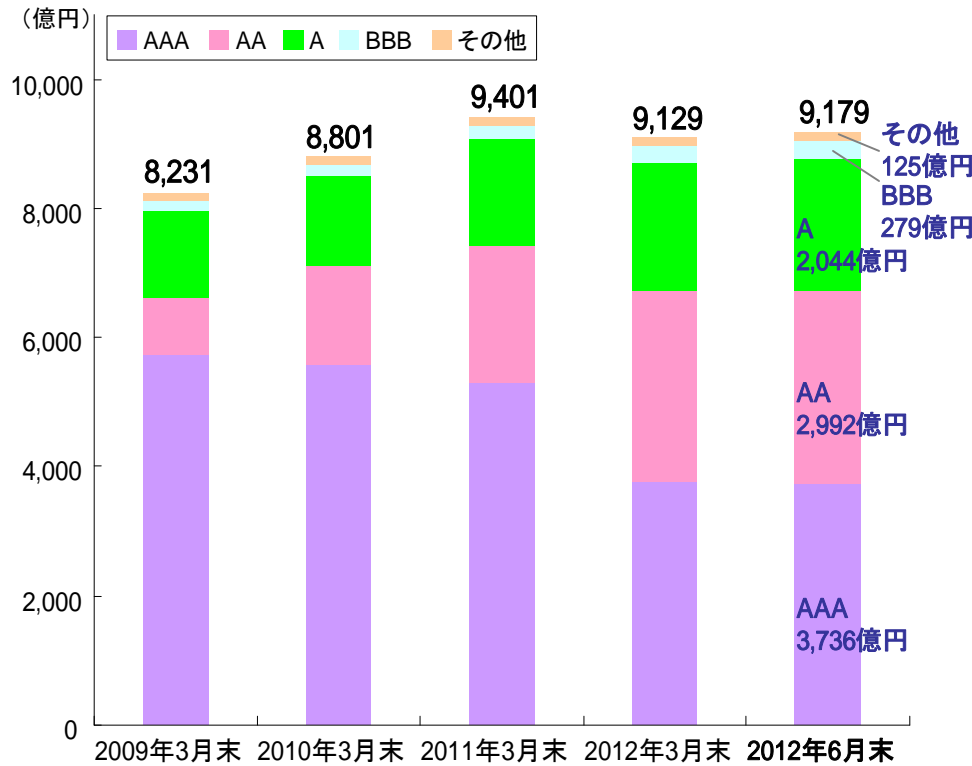
有価証券の状況

< 単体 >

- 有価証券は、高格付けの債券で安定的に運用。引き続き、AAA～A格の債券が全体の9割強を占める。
- その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)は29億円。

金額は億円未満切捨てで表示

【有価証券残高(格付け別)】



【その他有価証券の内訳】

(単位:億円)

	2012年3月末	2012年6月末
債券	5,079	5,205
国債	1,945	2,035
地方債	291	395
社債	2,842	2,774
その他	3,849	3,817
外国債券	3,764	3,734
その他の証券	85	82
合計	8,929	9,022
< その他有価証券評価差額金 (税効果会計適用前) >	< 26 >	< 29 >

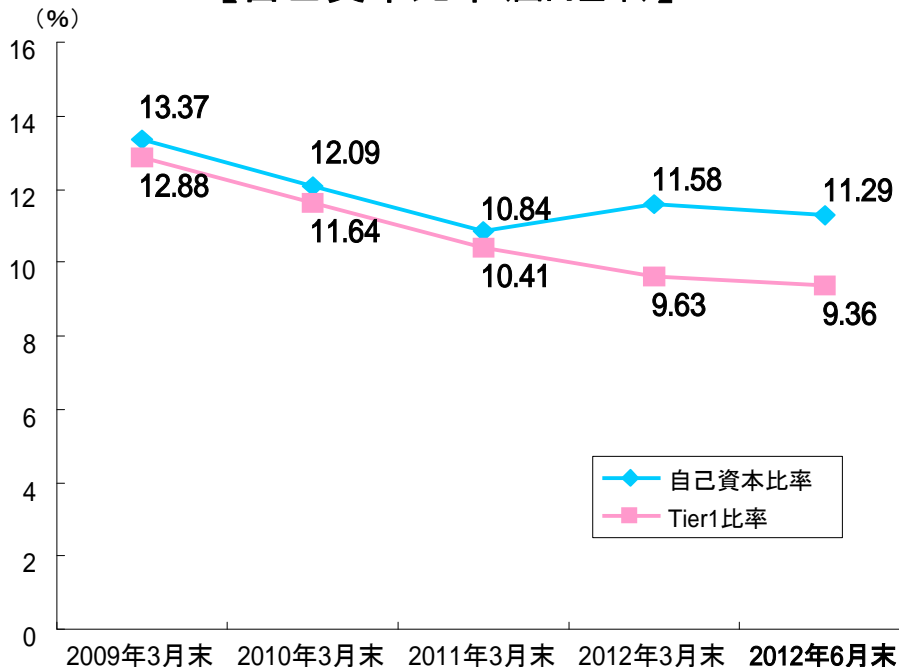
時価のあるその他有価証券の貸借対照表計上額内訳

自己資本比率・格付け情報

< 単体 >

● 自己資本比率は11.29%と、健全な水準を維持。

【自己資本比率(国内基準)】



【格付け(2012年6月末現在)】

スタンダード&プアーズ	
長期カウンターパーティー格付け「A」	アウトルック「ネガティブ」
短期カウンターパーティー格付け「A-1」	
日本格付研究所	
長期優先債務格付け「AA-」	見通し「安定的」

平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出している。また、2012年3月末までは平成20年金融庁告示第79号を適用しており、2012年6月末は平成24年金融庁告示第56号を適用している。